



あふれる緑 つながる和 生き活きさべり



さべりing



▼福豆で 鬼退治!▼

～耕雲寺 豆まき～ 2月4日(日)

▼門前の「靈樹山 耕雲寺」では、初めての試み「節分豆まき」が開催され、約200人の参加者が、厄を払い、一年の健康を祈願しました。▼この行事は、地域の人が気軽に集まれるお寺にしようとして耕雲寺が開催したもので、山辺里地区まちづくり協議会では、地域の宝物(歴史的遺産)を皆さんに発信し、訪れてもらうため、これを後援しました。▼まずは、参加者の無病息災、厄除祈願です。総勢8名の和尚様による有難い読経に、会場は敵かな雰囲気になります。▼続いては、劇団「農(あした)」の皆さんによる歌劇「五蓋(ごがい)の鬼」。五蓋の鬼とは五色の鬼のことで、それぞれの色には、赤(自分勝手に欲深い心)、青(怒りや憎しみ)、緑(念心)、黒(疑いの心)、黄色(後悔)などの意味があるそうです。▼歌劇では、楽しい歌と動きに合わせて、それぞれの鬼の色に合わせた特徴あるセリフやナレーションで物語が進みます。様々な光やスモークの演出に、会場内が怪しげな雰囲気になります。▼楽しい歌劇の後は、菊地ご住職の合図で豆まきです!200人から一斉に豆をぶつけられ、鬼は大騒ぎ。見事に鬼は退散していきました。▼豆まきで邪気を祓い、厄除けを祈願した参加者は、晴れ晴れとした表情で、会場を後にしました。

さべり地区の話題

㊦は、集落活性化補助金を活用して実施した、各集落の活動です。

山辺里 もちつき大会 平成 30 年 1 月 13 日(土) ー富樫農機商会作業場ー 90 人出席 ㊦



▼例年、神社境内で行う正月行事のもちつき大会でしたが、前日からの大雪により、会場の設営が困難なため、富樫農機商会様の作業場をお借りして開催しました。▼当日は区議員・公民館役員が朝から会場設営やもち米を蒸したりして準備をすすめました。お昼 12 時から、臼と杵で9升のもち米を3回に分けてつき、大人から保育園児、小中学生と一緒に杵を持ってもちつきを楽しみました。▼餅の種類は、雑煮、きな粉もち、豆もちの3種類。JA 女性部と小中学校のPTA のみなさんに調理してもらい、参加者全員でつくたての美味しいおもちを食べ、今年一年の健康と安全を願いました。▼また、当日は、冷え込んでいたため、外で食べる雑煮もちのあたたかさがとても体にしみる一日でした。

仲間町「ミズキ団子とどんど焼き」 平成 30 年 1 月 14 日(日) ー集落開発センターー 65 人参加 ㊦

▼集落の皆さんが集えるように集落開発センターおよび隣地を会場にミズキ団子飾りと、どんど焼き(左義長)を同時開催しました。これ以上ない冬の穏やかな日和となり、区役員、消防団、小中学生及び PTA、その他のボランティアの組織で一斉に準備を開始しました。▼ミズキ団子飾りは昨年からのスタート。悪戦苦闘しながらも赤、青、黄の3色で見事に集落センター内に団子の花を咲かせました▼どんど焼きについては、30年ぶり以上となる開催のため、真剣に作り上げていく若者の後ろ姿が印象的。「ああした方が」「こうでなくては!」と言いながら皆で作上げた、左義長の出来上がりを見つめるその顔にはたくさんの笑みがこぼれていました。午後4時過ぎに、小中学生の代表と副区長の3人で同時に点火。まっすぐに立ち上る炎と煙に集まった60人以上の人々が無病息災、身体堅固、家内安全などのお願いをしたことでしょう。▼炎が小さくなる中で、顔を赤くしながらもスルメやもちを焼く人、振る舞い酒で朗らかになる人、記念写真に余念がない人など、皆が思い思いに楽しんだ小正月の一日となりました。





放課後子ども教室「わくわくキッズさべり」では、休日の特別開催ということで、小正月行事「団子の木飾り」を行いました。この行事はミズキの木の枝に、団子や飾りを施し、家内安全、五穀豊穡、無病息災を願う行事です。▼この行事に使われるミズキの木は、赤い枝が美しく、春先には水を勢いよく吸い込み、上に向かって枝先が伸びるのが特徴です。▼まずは、調理室で団子づくりです。白と赤の団子を手でこねて、一口大にします。あとでのお楽しみ用にゆでた団子も作りました。▼出来上がった団子を木に挿していくと、上を向いていた枝がだんだんと広がり、稲穂のように頭を垂れます。子どもたちは夢中になって飾りつけを楽しみました。▼きれいに飾り付けが終わると丁度おなか为空いたころです。ゆでた団子は、きな粉をつけたり、おしるこにしたりてみんなで美味しくいただきました♪



ご自宅で不要になった

将棋・コマ・けん玉などを譲ってくださる方を募集しています

さべり地区と子どもたちをつなぐ会が運営する「放課後よれっしゃ」では、子どもたちが遊ぶための将棋・コマ・けん玉などが不足しています。これらは、いずれも子供たちの“かんがえる力”、“手先の器用さ”を育てる大切な遊び道具です。

ご自宅に眠っているこれらの遊具をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ、下記までお声掛けください。

また、これらの遊具がない方でも、子どもたちと一緒に遊んで下さるボランティアさんも募集しています。腕自慢の方でも、子どもたちと一緒に練習してみたい方でもどなたでも結構です。ぜひ下記までご連絡をお待ちしています。



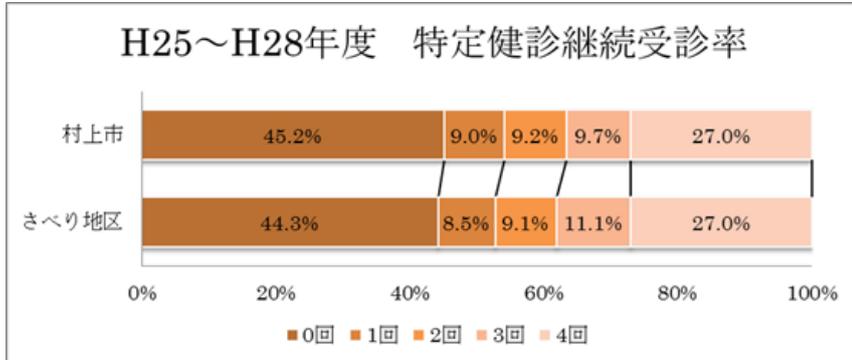
連絡先

さべり地区と子どもたちをつなぐ会
代表：池江（53-0575）

伊藤保健師の + 保健師通信 +

▼健診の継続受診のすゝめ▼

平成 30 年度の健診の申込書については、区長さんが提出についてお願いして下さった集落もあり、沢山のご提出をいただきました。ご協力ありがとうございます。▼さて、「毎年健診を受けている人がどのくらいいるのか」調べてみました。



佐藤 陽子 (あきこ) ちゃん
天神岡



川村 莉々彩 (りりあ) ちゃん
下山田



村山 葉菜 (かんな) ちゃん
仲間町

※「平成 25 年度～平成 28 年度国民健康保険に継続加入」かつ「40 歳以上 74 歳未満」の方
※自己負担で人間ドック等を受診している方は含まれていません

約 4 人に 1 人が、4 年間毎年健診を受診していました。また、「4 年間 1 回も健診を受けていない」方は 44.3%と、市の平均を下回りました。地区担当の保健師として、とても誇らしかったです。

＜お医者さんにかかっている方も、年に 1 度は健診を受けましょう＞

▼健診を受けない方に理由を聞くと、「悪いところがないから」、「医者でみてもらっているから」という声が多く聞かれます。医師からは「普段の診療では治療に必要な項目しかとっていないので、年に 1 度健診を受けて、全身の状態を見せてもらえるとありがたい」という声もあります。また、データは単年ではなく、経年変化で見ることがとても重要です。血液データは、皆さんの食事や運動等の生活習慣を素直に反映しています。医療機関にかかっているいなくても、年に 1 度は健診を受けて、日頃の生活を振り返る機会としてください。▼今月の市報（2 月 1 日号）に健診の特集も組まれていますので、ぜひご覧ください♪▼健診の申込もまだまだ間に合います。希望する方はご連絡ください。

山辺里地区担当 伊藤麻里（電話 53-2111 内線 263）

健民少年団山辺里地区隊

スキー&スノボ交歓会



▼2 月 3 日（土）に本団活動であるスキー・スノーボード交歓会を胎内市のわかぶな高原スキー場で開催し、山辺里地区隊も参加してきました。▼当日は天気にも恵まれ、雪のコンディションもバッチリ！▼準備体操を終えた後はレベルごとに分かれて、活動を行いました。初めてのスキー・スノーボードに戸惑う団員もいましたが、インストラクターの指導をよく聞き、基礎を身につけることが出来ました。▼お昼を食べた後はまたレベルごとに分かれ活動です。初心者クラスの団員もリフトに乗れるようになり、上手に滑りを楽しんでいました。▼次回の活動は「交流の館・八幡」です。まだまだインフルエンザや風邪が流行っています。体調に気を付けて次回の活動も楽しみましょう！！

▽今後の予定▽

- 2 月 18 日（日） 山辺里地区バレーボール大会
- 24 日（土）
- ～25 日（日） } みそづくり道場
- 3 月 4 日（日） かんきょう講演会
- 18 日（日） さべり焼き教室